

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

豊かな社会の建設に貢献することを通じて名実共に優れた魅力ある会社づくりを目指す

連結売上高

200,000百万円

営業利益

12,000百万円

営業利益率

6.0%

自己資本利益率

8.0%

② 中長期の経営戦略

1. 経営基盤の強化

管理会計基盤の強化、物件単位の生涯収益可視化、組織別・事業別ROE算出による資本配分の適正化

3. サステナブル経営による成長

建物&エネルギーインフラを軸に、高付加価値型・非労働集約型ビジネスモデルの拡大、BIM専門組織創設

2. 次世代技術・バリューチェーン改革

「技術の東光」の明文化と具体化、施工管理職の人材確保、段階的育成の仕組み化、研修カリキュラム拡充

4. DX戦略による価値向上

東光プラットフォーム整備、工事書類のデータベース化とAI活用、全社ITリテラシー向上、プロジェクト進捗の見える化

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不透明性

- ・物価上昇・円安傾向の継続への対応
- ・地政学リスク長期化の影響緩和

② 建設業界の構造的課題

- ・資材価格・労務費高騰への対応
- ・時間外労働上限規制への対応
- ・深刻化する担い手不足への対応

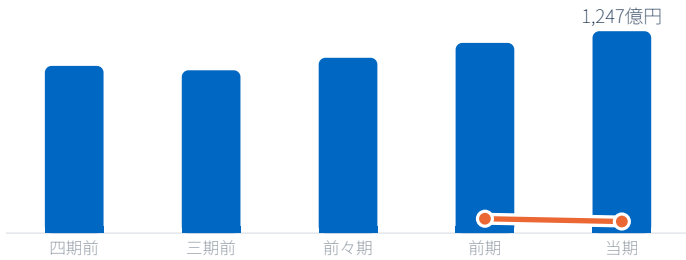
③ 持続的成長の前提条件

- ・脱炭素社会実現への対応
- ・デジタル化加速に伴う設備需要高度化への対応

面接で使えるポイント

- ・長期ビジョン2035で売上高200,000百万円を目指し、技術継承と非労働集約型ビジネス推進で企業価値向上を図る会社
- ・BIM活用による建物カルテ・データベース開発でストック型ビジネスへ転換し、生涯価値を高める取組に挑戦
- ・DX推進部を中核に東光プラットフォーム整備やAI活用による業務改革で、デジタル技術を経営戦略に統合

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,247億円営業利益率
5.8%財務健康度
48点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 57.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

